

令和2年度事業報告

新型コロナウイルス感染拡大により、経済活動が制限される中、シルバー人材センターの基本理念である「自主、自立、共働・共助」のもと、働きがいを見つけ、地域社会に一層の活力を生み出すとともに多様化する地域のニーズに応えるべく新規会員の加入を促進し、就業の確保・拡充によりセンター機能の強化に努めたが、会員の就業機会が減少するとともに、会員の減少も続き厳しい1年となった。

1 受託事業・労働者派遣事業

受託事業では、会員の減少やコロナウイルスの関係で受注機会が減少しており、例年どおりに年間契約していた事業所においても、年度途中から全く就業機会がなかった事業所もあるなど、契約額は 昨年度に比べ 970 万円減の約 92% となっている。

一方、派遣事業実績でも受託事業 と同様の理由により、昨年度に比べ 300 万円減の約 95% となっている。

2 調査研究

公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会主催の各種研究会に参加、また、民間主催の研修会・講習会に参加し研鑽を重ね、事業の推進・強化を図った。

3 普及啓発

地域住民、事業所などに対しシルバー事業の活用並びに会員の加入促進を図るため普及啓発に努めた。

☆ 会報「第55号」「第56号」を発行し、関係機関、公民館などに配布

☆ カレンダー等啓発資材を配布

☆ 普及啓発月間(10月)に合わせ「銭形砂絵」内の除草ボランティア活動を実施

☆ 会員の作成した会員募集ポスターを支部、公民館、社協事務所等に掲示し、会員拡大とシルバー事業の啓発活動を実施

4 安全・適正就業

安全就業については、会員とともに公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会主催の安全・適正就業推進会議、安全に関する研修会・教室等に参加し、安全意識の向上に努めるとともに、適時就業先を訪問し安全指導を実施、就業中及び就業途上の事故防止に配慮した。

適正就業については、「適正就業ガイドライン」を遵守すべく、発注者・会員に周知を図り、

請負として適正でない契約については発注先に対し派遣契約への転換を依頼した。また、「共働・共助」の意識を高め、ワークシェアリングによる会員のローテーション化を一層進め、公平な就業機会の提供に努めた。

5 会員の増強

年度当初の更新時に、加齢、体調等の理由により会員が多く退会し、定期的な入会説明会を開催することにより新たに28人が入会したが、結果として昨年度末から18人の減少となっている。新型コロナウイルス感染拡大に伴う就業機会の減少もあり、退会する会員の数を下回る新入会員数となっている。

今後は適切な就業あっせん等により会員満足度のアップを図り、加齢等身体的理由以外の退会者を減らす一層の努力が必要である。

☆ 令和元年度末 367人（当初退会）42人
（入会）28人（途中退会）4人 令和2年度末 349人

6 諸会議の開催

当センターの維持運営の執行に関して必要な会議を、次のとおり開催した。

- ☆ 定時総会 令和 2年 6月 5日 開催（限定開催）
- ☆ 第1回 理事会 令和 2年 5月14日 開催（書面決議）
- ☆ 第2回 理事会 令和 2年 6月 5日 開催
- ☆ 第3回 理事会 令和 2年11月27日 開催
- ☆ 第4回 理事会 令和 3年 3月26日 開催